

*For the People*

**YOSHINOYA  
HOLDINGS**

# 2022年2月期 第1四半期決算補足資料

**2021年7月9日**

**証券コード：9861**

**株式会社 吉野家ホールディングス**

## 22年2月期第1四半期実績

(単位：百万円)

	第1四半期		前年同期			前年同期 (京樽売却影響除く)		
	実績	売上高比	実績	売上高比	前年同期差	実績	売上高比	前年同期差
売上高 (前年比)	36,450	100.0%	39,681	100.0%	△ 3,231	36,010	100.0%	+439
営業利益	△ 206	△ 0.6%	△ 4,955	△ 12.5%	+4,748	△ 3,624	△ 10.1%	+3,418
経常利益	2,520	6.9%	△ 4,278	△ 10.8%	+6,799			
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,533	4.2%	△ 4,087	△ 10.3%	+5,620			

**連結売上高364億円 前年差△32億円、京樽影響を除く前年差+4億円、前年比101.2%**

- 前期に休業・営業時間短縮影響の大きかった、はなまる・海外の回復

**営業損失2億円 前年差+47億円、京樽影響を除く前年差+34億円**

- 緊急事態宣言の売上影響は大きいですが、前期のコスト削減の取り組みにより損失額が低減
- 吉野家・はなまる・海外、各セグメントで収益性が大幅改善

**親会社株主に帰属する当期純利益15億円 前年差+56億円**

- 時短協力金の計上もあり、当期利益は黒字化

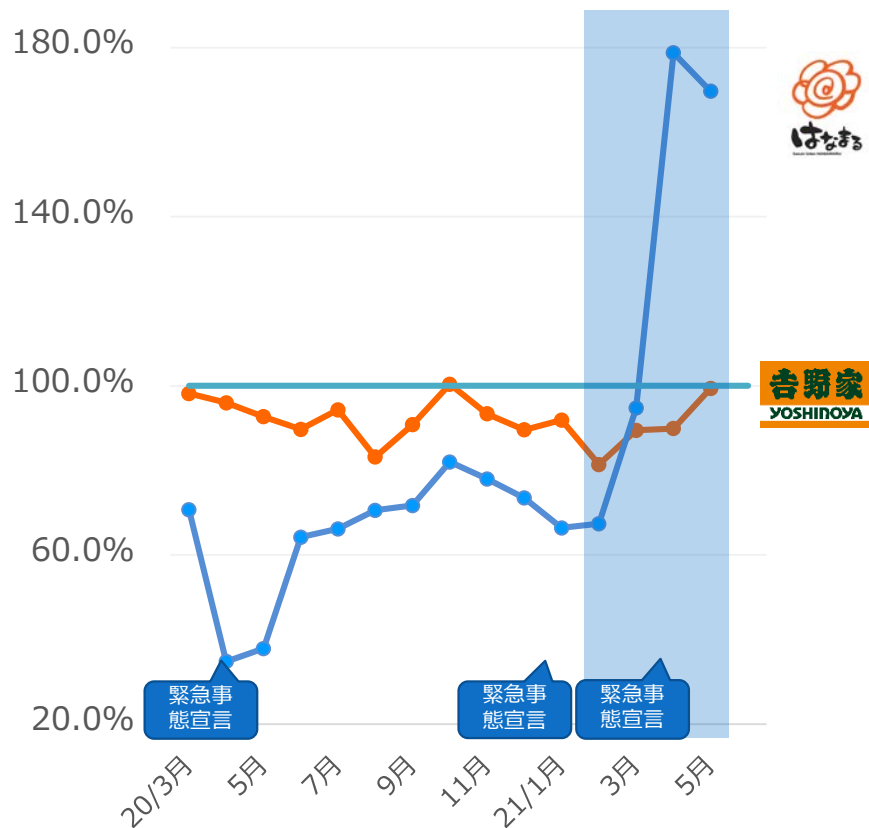
**通期業績予想変更なし**

売上高1,551億円、営業利益27億円、経常利益52億円、当期純利益20億円

# 既存店売上高推移

## 国内事業

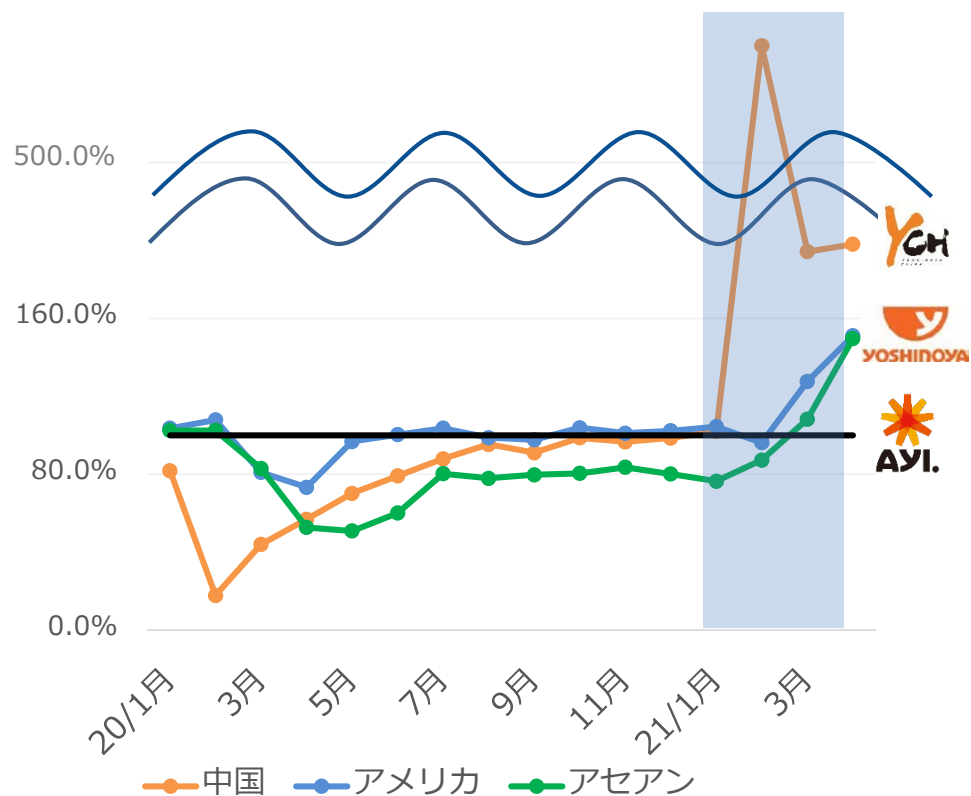
◆ 緊急事態宣言の影響で  
既存店売上高は回復途上



	1 Q	19年比
吉野家	92.8%	88.7%
はなまる	134.5%	64.4%

## 海外事業

◆ アセアンは影響が続くも  
米国、中国は順調に回復

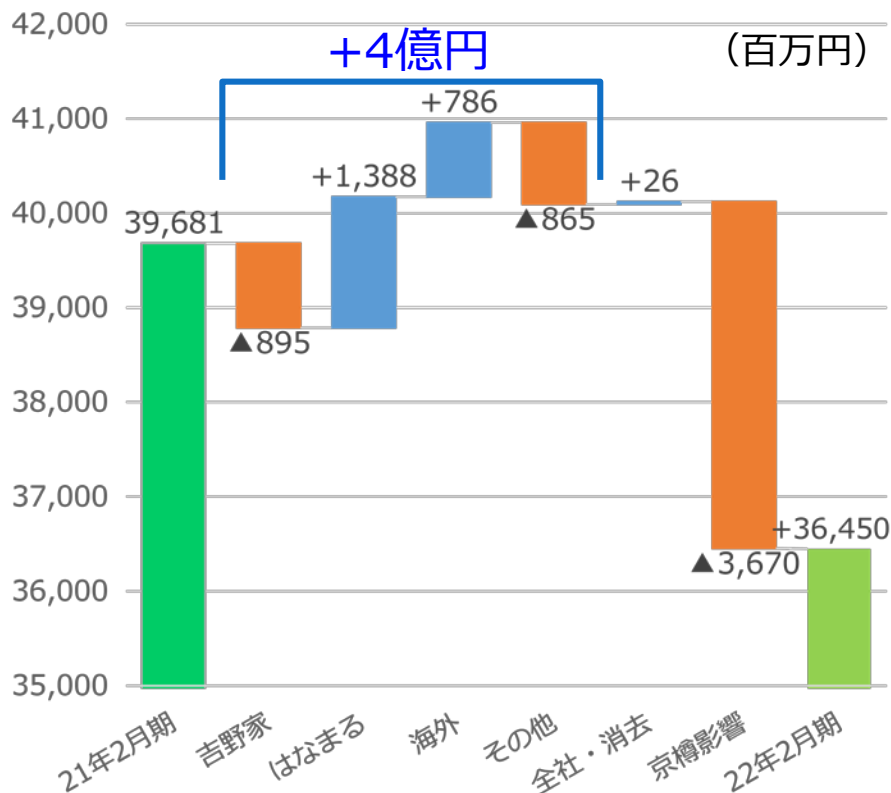


	1 Q	19年比
中国	174.5%	90.5%
アメリカ	108.7%	105.3%
アセアン	89.9%	86.1%

# セグメント売上高・営業利益増減

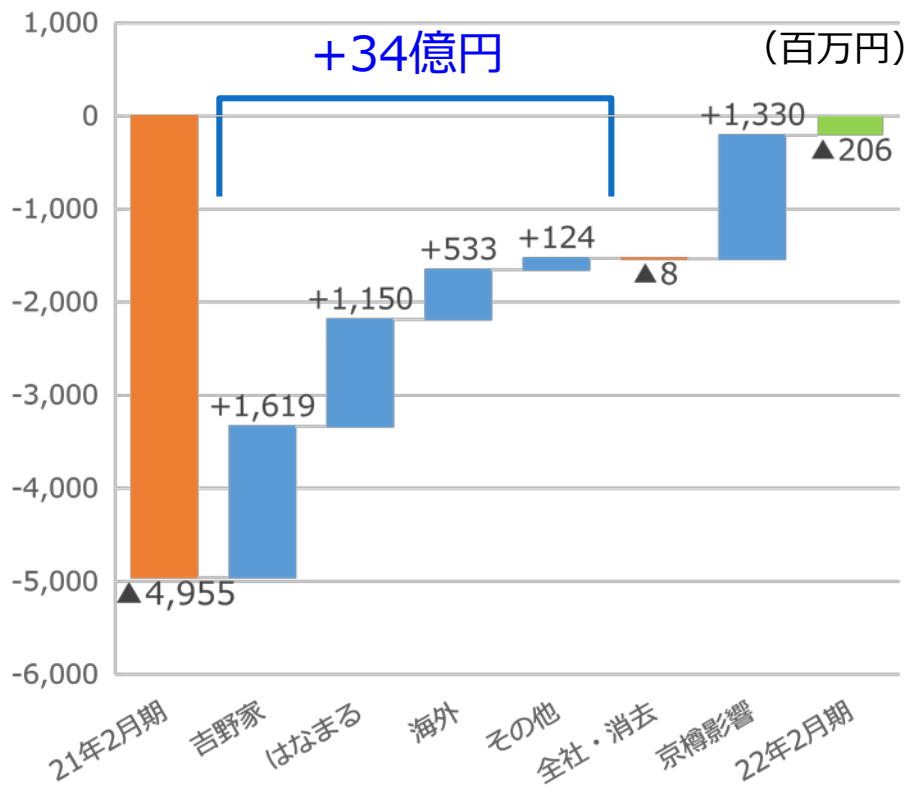
## 売上高

- ◆ はなまる・海外は前年の大規模休業影響の反動により増収  
京樽影響を除くと前年差+4億円の増収



## 営業利益

- ◆ 緊急事態宣言影響が続くも、前期のコスト削減効果により各セグメント大幅改善  
京樽影響を除くと前年差+34億円の増益



※2022年2月期より、はなまる子会社の「千吉」を、その他に区分変更致しており、前年値を変更後の区分に修正し、増減を計算しております

## コスト削減効果

- ◆ 前期の活動の結果、  
 コスト削減・仕入価格低減により、原価11億円改善  
 人件費・広告宣伝費等適正化により販管費20億円改善  
 閉鎖により利益改善5億円

(億円)

(参考) 21年2月期第1四半期		△ 49	
営業利益			
+	原価改善	+11	コスト削減・仕入価格低減・売価変更
+	販管費低減	+19	
	人件費低減	+9	店舗労働時間数適正化・社員残業低減・本部社員の再配置
	広告宣伝費	+5	TVCM キャンペーン等の販促費の適正化・効率化
	求人費・交通費	+1	採用媒体比低減、オンライン会議による出張費削減
	前期休業コスト	+4	前期大規模休業に伴い発生したコストの適正化
+	閉鎖影響	+4	不採算店閉鎖による収益改善
+	京樽影響	+13	京樽の株式売却による利益改善
(参考) 22年2月期第1四半期		△ 2	
営業利益			

## 原価率・経費率

◆原価率・販管費率共にコスト削減、コストコントロール力の向上により前年第1四半期から大きく改善

	21年2月期 第1四半期	21年2月期 第2四半期	21年2月期 第3四半期	21年2月期 第4四半期	22年2月期 第1四半期	前年同期差
原価率	38.6%	37.3%	36.5%	36.4%	33.8%	△4.8%
販管費率	73.9%	65.1%	62.1%	63.6%	66.8%	△7.1%

## 四半期別PL推移

前四半期との売上差△17億円に対し、営業損失差は△4億円はなまるがBEP売上を下回る状況だが（19年対比64%）売上変動に対する収益力が向上

	21年2月期 第4四半期 (京樽売却影響除く)		22年2月期 第1四半期		前四半期	
	実績	売上高比	実績	売上高比	差	比差
売上高	38,225	100.0%	36,450	100.0%	△1,775	
売上原価	13,712	35.9%	12,308	33.8%	△1,404	△2.1%
販管費	24,318	63.6%	24,348	66.8%	+30	+3.2%
営業利益	195	0.5%	△206	△0.6%	△401	

22年2月期 第1四半期	セグメント 利益	既存店売上 19年対比
吉野家	1,251	88.7%
はなまる	△393	64.4%
海外	358	100.8%

# 22年2月期第1四半期損益

◆緊急事態宣言影響でトップラインの回復は遅れるが、コスト削減により営業損失が大幅改善、時短協力金の計上もあり経常利益は+67億円改善。

(単位：百万円)

	第1四半期		前年同期			前年同期（京樽売却影響除く）		
	実績	売上高比	実績	売上高比	差/比	実績	売上高比	差/比
売上高	36,450	100.0%	39,681	100.0%	△ 3,231	36,010	100.0%	+439
					91.9%			101.2%
売上原価	12,308	33.8%	15,319	38.6%	△ 3,010	13,706	38.1%	△ 1,397
販管費	24,348	66.8%	29,317	73.9%	△ 4,969	25,929	72.0%	△ 1,581
営業利益	△ 206	△ 0.6%	△ 4,955	△ 12.5%	+4,748	△ 3,624	△ 10.1%	+3,418
営業外損益	2,727	7.5%	676	1.7%	+2,050			
経常利益	2,520	6.9%	△ 4,278	△ 10.8%	+6,799			
特別損益	△ 79	△ 0.2%	△ 987	△ 2.5%	+908			
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,533	4.2%	△4,087	△ 10.3%	+5,620			

# セグメント別出退店 実績

- ◆ 中国を中心に出店を再開 出店17 退店39  
第2四半期以降、国内においても順次出店再開

	前期末	出店	退店	移管	実績	増減
吉野家	1,189	0	3		1,186	▲ 3
はなまる	475	0	6		469	▲ 6
海外	965	17	18	+1	965	0
その他	251	0	12	-1	238	▲ 13
連結合計	2,880	17	39		2,858	▲ 22



◆ 有利子負債減少△103億円により、自己資本比率は35.2%に改善  
京樽の株式譲渡による影響、総資産▲95億円

<連結貸借対照表>

(単位：百万円)

	第1四半期実績	前期末実績	前期末差
総資産	<b>117,708</b>	<b>131,921</b>	△ <b>14,212</b>
流動資産	49,432	57,145	△ 7,712
固定資産	68,275	74,775	△ 6,499
(内現金及び預金)	32,286	37,900	△ 5,613
負債	<b>75,703</b>	<b>91,778</b>	△ <b>16,075</b>
流動負債	36,667	46,688	△ 10,020
固定負債	39,035	45,089	△ 6,054
(内有利子負債)	48,730	59,040	△10,310
純資産	<b>42,005</b>	<b>40,142</b>	<b>+1,862</b>
自己資本比率	<b>35.2%</b>	<b>30.0%</b>	<b>+5.2%</b>
DELシオ	<b>1.38</b>	<b>1.73</b>	△ <b>0.35</b>

*For the People*  
YOSHINOYA  
HOLDINGS

本資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画予測数値などは、現在入手可能な情報を元に、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画とは異なる場合があります。この資料はその実現を確約したり、保障するものではありません。この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんので、ご承知おきください。